



TITLE:

利用者カードを発行しています

AUTHOR(S):

---

CITATION:

利用者カードを発行しています. 静脩 1992, 29(1): 5-6

ISSUE DATE:

1992-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37138>

RIGHT:

## お知らせ

### 土曜日のサービスが変わりました

平成4年5月からの国家公務員の完全週休二日制の実施にともない、学内各部局の業務は原則として休業・閉庁となっています。

学内図書館（室）のうち、土曜日でも開館しているところは、次の4ヶ所です。

#### 【附属図書館（中央図書館）】

- ☆開館時間 \*10時～17時
- ☆土曜休館日 \*7月11日～9月5日の授業休業中の土曜日（当番）
- ☆サービス業務 \*1階、2階に配架の図書・雑誌の閲覧、貸出（10時30分～15時）、返却  
\*複写（校費振替でカード使用のみ）  
\*書庫内資料の利用、入庫検索はできません。
- ☆問合せ先 \*資料運用掛 753-2633

#### 【法学部図書室】

- ☆開室時間 \*9時～12時
- ☆サービス業務 \*開架コーナーの図書・雑誌の閲覧（持出しはできません）
- ☆問合せ先 \*閲覧掛 753-3114

#### 【医学図書館】

- ☆開館時間 \*10時～16時
- ☆サービス業務 \*雑誌の閲覧、貸出、返却  
\*図書の返却
- ☆問合せ先 \*閲覧掛 753-4313

#### 【教養部図書館】

- ☆開館時間 \*9時～15時
- ☆サービス業務 \*閲覧、貸出、返却（開架・書庫）  
10時～14時30分  
\*教室所蔵図書の利用は、できません。
- ☆問合せ先 \*閲覧掛 753-6525

注）平日及び従来の土曜日のサービス業務との内容に変更点、制限等がありますので、そ

れぞれ電話等で確認のうえご利用ください。  
（資料運用掛）

### 利用者カードを発行しています

附属図書館と教養部図書館は、自動入退館システムと、コンピュータ貸出方式（開架図書のみ）をとっています。附属図書館で発行する利用者カード（図書館利用証）は、両館の入館証と貸出証を兼ねるものです。

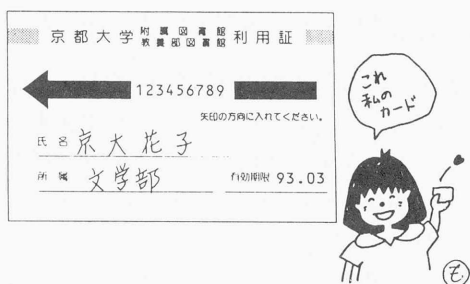
カード発行の際には、申請用紙に氏名、住所等を記入の上、身分証（学生証）の提示を必要とします。カードの有効期限は、身分証の有効期限に準じて設定します。在籍期限更新の場合は、新たに申請しなおして下さい。

学部生と修士課程院生は、入学・進学の際の名簿を元にカードを一括作成してありますので、申請用紙記入後、即時にカードを受け取ることができます。平成4年度の新入生・新院生のカード交付は、4月14日に開始し、同月末日までの13日間で、新入生の76.2%、新院生の45.6%が交付を受けています。未だ交付を受けていない方は、図書館にお立ち寄りの際に申請をしてください。前年度以前の入学・進学者のカードも作成して保管してあります。上記以外の方（教職員、博士課程院生、研修員聴講生等）の新規発行と、在籍期限更新による再発行の場合は、カード作成までに、申請後1週間程かかります。

カードを紛失した時は、悪用を防ぐ為に、必ず「紛失届」を出して下さい。約2週間後に新しいカードを発行します。所属、姓、住所等を変更した時も、届を出して下さい。なお、紛失カードや旧カードで貸出中の図書が、附属図書館又は教養部図書館にある時は、新しいカードが発行出来ませんので注意して下さい。

入館の際には必ずカードを入館機に通して下さい。矢印の方向に正しく挿入してもエラーメッセージが出るときや、入館機の中にカードが引っかかるときは、カードを作りなおすことも出来ますので、遠慮無くメインカウンターに申し出て下さい。

カードの発行申請・交付は、附属図書館の受付カウンターで、月～金曜日の9時～11時45分、13時～16時45分に受け付けています。(資料運用掛)



## 図書館利用案内ができました

利用者のみなさんに図書館をよりよく利用していただく為に、下記の小冊子を作成しています。

### \* 新入生のための Library Guide 1992

新入生が一番利用する機会が多いと思われる教養部図書館と附属図書館を中心に説明しています。図書や雑誌のさがし方の他、参考図書(レファレンス・ブック)や語学学習のためのAVブースの利用についても案内しています。

なお、5月からの土曜日の時間変更にはふれておりません。ご注意ください。

### \* 利用のしおり 1992/93

教官・院生を対象として配布しています。学内すべての図書館(室)の利用案内となっています。特殊文庫、大型コレクションの案内の他、学内にある主な二次資料、学外の主なサービス機関を紹介しています。

### \* 利用案内 1992

「利用のしおり」から附属図書館の説明だけを抜き出したものです。

### \* A User's Guide to the

#### Kyoto University Library 1991/92

留学生を対象とした附属図書館の案内です。

この他見学者のために、「京都大学附属図書館概要 1989/90」を用意しています。(参考調査掛)

## 文献複写の入手がはやくなります

平成4年4月1日からNACSIS-I L L(学術情報センター Inter-library Loan)システ

ムが開始されました。NACSIS-I L Lシステムとは、図書館間で実施している文献複写・現物貸借に係る業務のうち、所蔵調査及び通信・連絡に係る部分をオンラインで行うというものです。

従来は、文献複写・現物貸借の申込み時にカウンターで利用者に記入してもらった申込用紙自体を受付相手館に郵送していました。このI L Lシステムでは、担当者が、まず利用者の記入した申込書をもとに端末に書誌事項を入力して、所蔵館を検索します。つぎに受付相手館を指定したのち、申込者氏名等を入力するという手順で依頼レコードを作成して、このレコードを送信します。

この方法によれば、申込館では切手、封筒が不要となります。また、送信すると同時に、受付館では直ちに受付できる状態になりますので、郵送日数の節約にもなります。

このシステムの最大のメリットは、謝絶レコードの自動転送にあります。従来の方法では、受付館が欠号・貸出中等の理由で依頼に応じられない場合、謝絶通知を申込館に郵送します。その後、通知を受け取った申込館では、所蔵館を再調査した後、新たに申込書を作成し郵送していました。

しかし、新しいシステムでは、端末での所蔵検索と依頼レコードの作成時に受付相手館を複数指定しておくことにより、最初の受付館で謝絶されたとき次候補館に自動的に依頼レコードが送られるようになっています。

このように、I L Lシステムの導入によって、申込館はより速くより確実に、求める文献を手に入れることができるわけです。

平成4年5月末現在、京都大学内では下記の図書館(室)がこのシステムに参加していますので、ご利用ください。なお、カウンターでの申込方法は従来と同じです。

### 【文献複写】

附属図書館(依頼・受付)

教養部図書館(依頼・受付、今秋から参加予定)

化学研究所図書室(依頼)

原子炉実験所図書室(依頼)

### 【現物貸借】

附属図書館(依頼・受付)

(相互利用掛)